

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ

No. 1778 長期継続特殊前兆

続報 No. 235
2017.12/21 (木) 16:00 JST

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

前兆継続から⇒少なくとも 1/12以降の可能性

2008年07月から継続する長期継続特殊前兆（地殻大型地震前兆認識）の続報です。

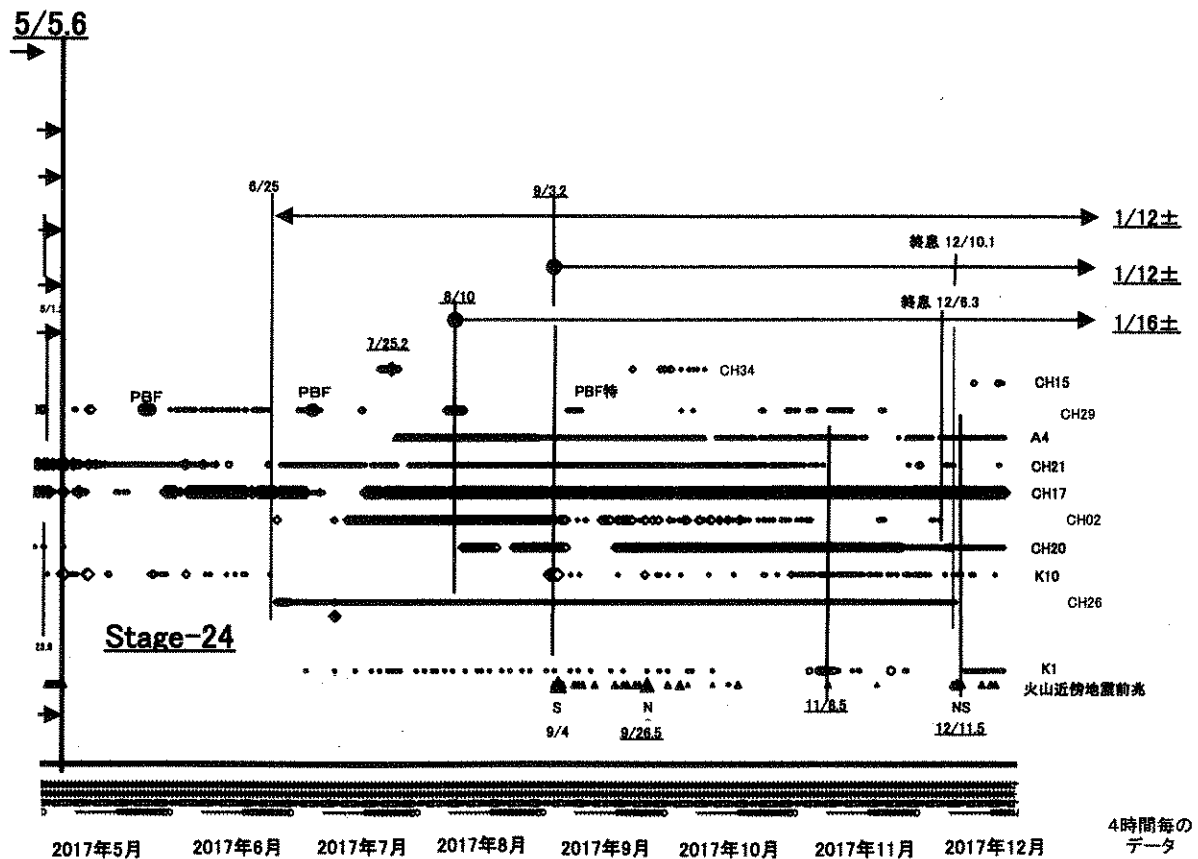
前続報で、早い場合の可能性として、12/28±または1/12±の可能性を報告させて頂きました。本日 12/21夕刻現在、まだ前兆は継続出現しているため、12.23±の可能性は完全に否定されるだけでなく、12/28±の可能性も考えにくい状況です。

次に早い場合の可能性として現状考えられるのは、1/16±となります。火山近傍地殻地震前兆の顕著なものが、12/11・12に

観測され、12/16・18・19にも出現致しました。12/11以降静穏だった観測装置に前兆が出現する様になったため、現状 12/11の極大を考慮する必要があります。

火山近傍地殻地震前兆は、2016年発生の熊本地震の前兆でも観測されましたが、今回はより顕著な前兆です。火山に近い領域での震源が極めて浅い地震の前兆で、No.1778前兆関連認識。

1/16±となるかは、今後の観測で判明致しますので、観測を続け続報させて頂きます。次の続報は01月上旬となる可能性。



No.1778前兆より

- ◆推定領域：右図斜線領域内付近の可能性（火山近傍領域の可能性・浅い地殻地震）
- ◆推定規模：M7.8 ± 0.5
- ◆推定時期：前兆完全終息後推定計算予定（少なくとも2018.1/10 以前の可能性否定）
- ◇推定発生時刻：午前09時±1（又は午後06時±3）

